

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		環境園芸学科		
科目名称	教職実践演習（中・高）						授業形態	演習	
科目コード	411420	単位数	2単位	配当学年	4年	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	植村 秀人、岩田 賢士								
授業概要	<p>本科目は、教職課程最終科目として4年間の大学における学習全般をふりかえる。それらを踏まえ、受講者一人ひとりが教師として必要な資質の確認を行い、自身の教師となる上での課題(不足している知識や技能)を把握し、その課題の改善に向けた検討を行う者である。そのことによって、受講者が、将来資質の高い高校農業科・高校理科・中学校理科となることをはかる。</p>								
関連する科目	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本科目は、4年前期に教育実習を実施した受講生若しくは4年後期に実施予定である受講生が受講できる。 2. 4年前期修了時点で教育実習（含む事前事後指導）・教職実践演習以外の別表6掲載の授業（高校のみの受講生は「道徳の理論と指導法」を除く）を修得していることが望ましい。 3. 4年前期修了時点で希望する教科に関する専門的な領域（別表1若しくは2掲載）について免許取得条件を満たしていることが望ましい。 4. 4年前期修了時点で、「専攻演習Ⅲ」「卒業論文」以外の卒業要件を満たしていることが望ましい。 								
授業の進め方と方法	<p>本科目は、演習であるためグループワークなど受講生自身で考える内容を中心に実施する。</p>								
授業計画【第1回】	<p>はじめに～履修カルテの整理とこれまでの学習～（植村） 履修カルテを整理し、これまでの学習を振り返り、今後の課題を整理する。</p>								
授業計画【第2回】	<p>ポートフォリオの作成 ～特別活動論の講義内容をまとめる～（岩田） 特別活動の講義内容を整理することで、前回は発展させながら教員としての資質能力を確認する。</p>								
授業計画【第3回】	<p>今後の教育の変化について考える。（植村） 今後の教育の変化を理解し、教師として何が必要かを考える。</p>								
授業計画【第4回】	<p>リーダーの資質について考えてみる。（岩田） リーダーのあるべき姿について考え、教師となった際の姿勢に活かす。</p>								
授業計画【第5回】	<p>教員育成指標について考える。（植村） 4年間の学修を教員育成指標の視点から振り返る。</p>								
授業計画【第6回】	<p>教師の働き方について考える（岩田） 教師の働き方について現代の課題などを踏まえ考える</p>								
授業計画【第7回】	<p>教育課題と教師・学校教育（植村） 教育課題から教師や学校教育がどのように対応できるか考える</p>								
授業計画【第8回】	<p>教員とコンプライアンスの遵守について（岩田） 教師として必要な法令遵守について再確認する</p>								
授業計画【第9回】	<p>環境教育と農や食（植村） 環境教育（SDGsやESD含む）などと農業や食がどのように関わっているか考える</p>								
授業計画【第10回】	<p>日本と海外の教育制度 ～部活動の違い～（岩田） 内外の教育の違いについて部活動を通して考える</p>								

授業計画【第11回】	多様な人々・機関との協力を考える（植村） チーム学校などを踏まえ多様な人々・機関との協力を考える
授業計画【第12回】	教育実習伝達講習会 ～教育実習の実際を3年生に伝える～（岩田） 教育実習を後輩に伝える中で振り返り、自身の学修を深める
授業計画【第13回】	キャリア教育の視点から考える（植村） 今後の教師としてのキャリア形成を考える
授業計画【第14回】	学校組織と農場管理の難しさ（岩田） 学校組織を理解し、その上で農場管理について考える
授業計画【第15回】	まとめ（岩田） 4年間の教職課程を振り返って見る
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・4年次前期までに修得した学習内容を振り返り、教科指導や生徒指導に関する専門的知識・技能の到達度を確認する。 ・学生に教員としての自覚を促し、責任感を養う。 ・実際の学校現場で求められる実践的な知識・技能の育成について、現場の教員や教員経験者との意見交流や、学生同士のディスカッションを通して理解を深めることを目指す。 ・「生徒理解」「学級経営」「保護者との人間関係構築」など、社会性や対人関係能力が特に必要とされる領域を特に重点領域とする。 ・高校農業科、中高理科教諭としての基礎的な力量の形成を目指す。
学位授与の方針(DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)
授業時間外の学修【予習】	履修カルテを事前に整理する（5時間程度） 各授業会に合わせ担当者からの事前課題などを行う（各1～2時間）
授業時間外の学修【復習】	授業を振り返る（各1～2時間） レポートなどを作成する（10時間）
課題に対するフィードバック	レポートなどは受講生へ返却する
評価方法・基準	岩田担当分：50点(レポートの提出、授業態度) 植村担当分：50点(授業ごとの感想文、グループワーク資料やグループワークへの参加状況を総合的に評価する)
テキスト	適宜配布する
参考書	「今後の教員養成・免許制度の在り方について」（答申）平成18年7月11日 中央教育審議会 文部科学省「中学校学習指導要領」 / 文部科学省「中学校学習指導要領解説 総則編」 文部科学省「高等学校学習指導要領」 / 文部科学省「高等学校学習指導要領解説 総則編」
備考	本科目は、開講期までに教育実習を終えている、若しくは後期に実施予定の者に限り履修できる。